

地方病院へ HIV モニタリングネットワークを更に拡大！
地方省紹介シリーズ②ゲアン省編

前号プロジェクトニュースで始まりました地方省紹介シリーズ、我々プロジェクトの HIV 治療モニタリングシステムのカバー範囲を拡大しつつ、ベトナム北部の多彩な地方文化も紹介していければと思っております。シリーズ第2回はゲアン(Nghệ An)省です。

ゲアン省は北部と中部の間に位置する大きな省で、ベトナム国内各省・市の中で最大の面積 16,493 km²を誇ります。海にも面していますがラオスと国境を接する山間部も多く、都市部の発展と山岳部の立ち遅れとを両方抱える地方省と言えます。ベトナム国内では故ホーチミン国家主席の故郷として知られています。

1月5日に行われたゲアン省統計局による記者会見¹によると、同省内の HIV 感染者は 12,300 人を超え、感染者数はベトナム各地方省・市の中で第6位の多さになるようです。2019年人口センサスでも省・市別人口がホーチミン市、ハノイ市、タインホア省に次ぐ第4位なので HIV 感染者数がある程度多いのは当然かもしれませんが、国境地域からの麻薬流入などの問題も抱え、大都市とは違った HIV 予防の難しさを抱えているようです。



このゲアン省で今後協力をしていくゲアン省総合病院は、非常に大きな病院で病床数は、現在建設中の新病棟も合わせると約2千床にもなります。北中部における医療サービスの中心であると同時に、国境を超えてラオスからの患者を受け入れることもあるそうです。病院の正式名称は「Bệnh viện Hữu nghị Đa khoa Nghệ An」と「Hữu nghị: Friendship」という言葉が入っています。これはベトナム戦争中から医療分野での支援があったポーランドとの友好関係を表しているそうです。



ゲアン省総合病院の皆さんとのミーティング



ゲアン省総合病院の皆さんと記念写真

¹ 2021年1月8日付 VN Express より <https://vnexpress.net/hon-12-000-nguoi-nghe-an-nhiem-hiv-4216714.html>

JICA との協力の歴史も深く、病院を訪れた際には多くの方から「特にリプロダクティブヘルスでの協力に感謝している」と、1997年に始まり、断続的に2009年まで支援が行われたことへの感謝の聲が聞かれました²。日越協力の歴史を感じる瞬間でもありますね。病院訪問を通じ、今後のプロジェクト活動を議論するに至ることができ、是非プロジェクトに参加したいとの声を頂くことができました。

そんなゲアン省でも引き続きグルメ紹介（笑）。ベトナムはどの地方にも特色ある名物があるのが一つの楽しみです。ゲアン省では名物のタウナギ料理を頂きました。



ゲアン省名物はタウナギ、そちらを使ったこのスープの辛みは、ハノイでも良く「Lươn Nghệ An」とタウナギ料理を出す店を見かけますね。ハノイでも良く「Lươn Nghệ An」とタウナギ料理を出す店を見かけますね。

筆者の趣味であるサッカーでも、ゲアン省は熱いです！地元クラブ Sông Lam Nghệ An はベトナムサッカーVリーグでもサポーターが熱狂的として知られ、スタジアムはいつも多くのサポーターの熱気に包まれています。今はなかなかスタジアムを超過員にしてサッカーを実施することは難しい時期ですが、新型コロナの状況が落ち着いて、人々がスタジアムで熱狂する姿を見てみたいものです。また、故ホーチミン国家主席の故郷でもあるゲアン省には、ベトナムで親しみを込めて「ホーおじさん」と呼ばれるホー主席の活動の軌跡を感じる場所も多数ありますが、これらはまだ訪れられておらず、別の機会にご紹介したいと思います。



ゲアン省サポーターはいつも熱い！ハノイやホーチミンなどスタジアムの近くには、かつてのビン城の栄華を残す城門が
アウェイにもファンが大勢駆けつけることで知られています（左及び上写真は3年前に筆者訪問時に撮影）

² 1997年から2009年にかけて、保健医療分野で3件のプロジェクトが実施された。プロジェクト名は、それぞれベトナム社会主義共和国「リプロダクティブヘルスプロジェクト」、「リプロダクティブヘルスプロジェクト（フェーズ2）」、「リプロダクティブヘルスケア広域展開アプローチプロジェクト」。